

2本針・2/3/4本糸
差動送り付 オーバーロックミシン

MO-766

(V-2)

取扱説明書



注意

安全にご使用していただくため、
ご使用前に必ずこの取扱説明書
をお読みください。また、いつも
ご覧になれますように保管ください。

The diagram illustrates the stitch selector dial and the corresponding thread configurations and stitch samples for the JUKI MO-766 sewing machine. The dial is divided into sections A, B, C, D, and E, each with a specific thread configuration and a corresponding stitch sample.

Section	Thread Configuration	Stitch Name	Stitch Sample
A	上下ルーパー、左右針: スパン糸又は フィラメント糸	4本糸 合わせ縫かがり縫い	
B	上下ルーパー: ウーリー糸、飾り糸 左右針: スパン糸又はフィラメント糸	4本糸 合わせ縫かがり縫い	
A	下ルーパー、左右針: スパン糸又は フィラメント糸	3本糸 スーパー ストレッチ縫い	
B	下ルーパー: ウーリー糸、飾り糸 左右針: スパン糸又はフィラメント糸	3本糸 スーパー ストレッチ縫い	
A	上下ルーパー、左右針: スパン糸又は フィラメント糸	3本糸 合わせ縫かがり縫い	
B	上下ルーパー: ウーリー糸、飾り糸 左右針: スパン糸又はフィラメント糸	3本糸 合わせ縫かがり縫い	
A	下ルーパー、左右針: スパン糸又は フィラメント糸	2本糸 幅広巻き縫い	
B	下ルーパー: ウーリー糸、飾り糸 左右針: スパン糸又はフィラメント糸	2本糸 幅広巻き縫い	
A	上下ルーパー、左右針: スパン糸又は フィラメント糸	3本糸 細ロック縫い	
B	上下ルーパー: ウーリー糸、飾り糸 左右針: スパン糸又はフィラメント糸	3本糸 細ロック縫い	
C	上ルーパー: ウーリー糸又は スパン糸 右針、下ルーパー: スパン糸又は フィラメント糸	3本糸 全巻き縫い	
D	上ルーパー: ウーリー糸、スパン糸 レース糸、毛糸 下ルーパー、左右針: スパン糸又は フィラメント糸	3本糸 飾り縫い	
E	下ルーパー: ウーリー糸、スパン糸 レース糸、毛糸 左右針: スパン糸又は フィラメント糸	2本糸 飾り縫い、縫かがり縫い	

The diagram also shows the stitch selector dial with the following settings:

- 1: 1-5 カざり糸
- 2: 1-5 カざり糸
- 3: 1-5 カざり糸
- 4: 1-5 カざり糸
- 5: 1-5 カざり糸
- 6: 1-5 カざり糸
- 7: 1-5 カざり糸
- 8: 1-5 カざり糸

The dial is labeled with A, B, C, D, and E, corresponding to the sections in the table above.

お買い上げ まことにありがとうございます。
 このロックミシンの特長をご理解していただき、
 正しく、安全にご使用していただくために
 まず この「取扱説明書」をよくご覧ください。

ご覧になったあとは、保証書とともに、大切に保存してください。

安全にご使用していただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、下記のことがらは必ずお守りください。

このミシンは日本国内向け、家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY



この表示は
禁止マークです。

警告 このマークの表示は感電、火災、けがの原因となりますから、特にご注意ください。

1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 下記のようなときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - ・ミシンのそばを離れるとき。
 - ・ミシンをご使用になったあと。
 - ・ミシンのご使用中に停電したとき。



注意 このマークの表示は感電、火災、けがの原因となりますから、特にご注意ください。

1. コントローラーの上に物をのせないでください。
2. お客様ご自身での分解、改造はしないでください。
3. ミシンを操作するときはルーパーカバーなどカバー類を閉じてください。
4. ミシンの縫製中は針から目を離さないようにし、針、メス、ルーパー、はすみ車、天びんなど、すべての動いている部分に手を近づけないでください。
5. 針折れの原因になるような曲がった針はご使用にならないでください。



6. 針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引張ったり、押したりしないでください。



7. お子様がミシンをご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全にご注意ください。



8. 下記のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。

- ・針、針板、押え、アタッチメントなどを交換するとき。
- ・針糸、ルーパー糸をセットするとき。
- ・ランプを交換するとき。
(ランプが冷えてから行ってください。)
- ・取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき。

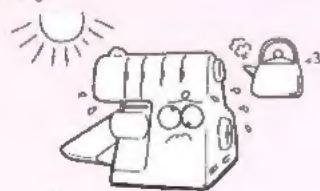


9. 落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。

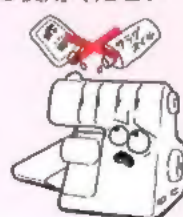
10. ミシンやコントローラーに下記の異常があるときは速やかに使用停止し、最寄りの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。

- ・正常に作動しないとき。
- ・落下などにより破損したとき。
- ・水に濡れたとき。
- ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
- ・異常な臭い、音がするとき。

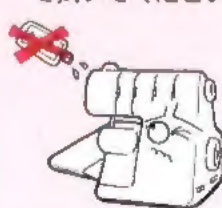
直射日光が当たる所、湿気の多い所には置かないでください。



必ずミシン油をご使用ください



掃除のときは中性洗剤で拭いてください

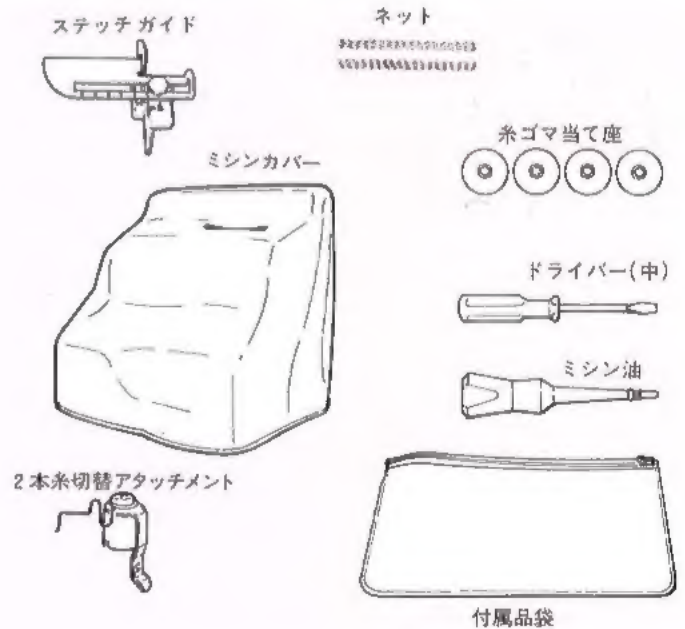
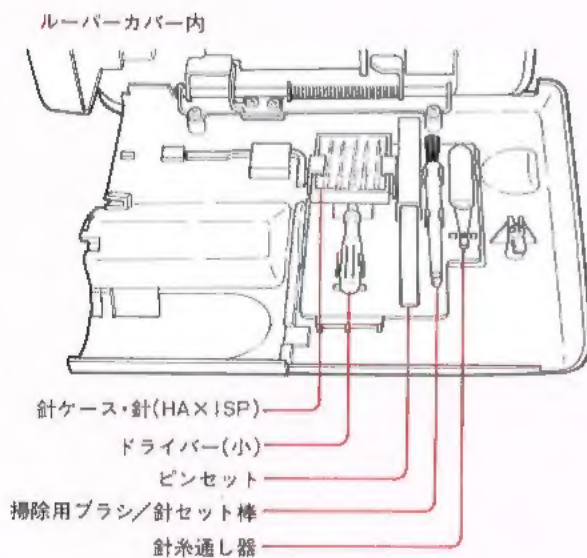


もくじ

付属品	1
主な各部の名まえ	2
正面から、裏面から、ルーバーカバーを開けたところ	
動かす前の準備	3
コントローラーと電源コードの取付け、電源スイッチ	
ランプスイッチ、糸かけ棒のセット、糸ゴマのセット	
各操作部とはたらき	4.5
針上下指示ボタン。しんせつモニター(LED)	
押え上げレバー	
ルーバーカバーの開閉	
はすみ車(プーリー)について	
補助ベッド/フリーアーム	
布くず受けの使い方	
上メスの解除	
押えの解除	
針の交換。布・糸・針の関係	
押えの交換	
押え調節レバー	
ステッチ選択	6
2本糸切替アタッチメントの取付け方	
かがり幅切替つまみ(かがり縫い、全巻き縫い・細ロック)	
左・右針と縫い目の幅	
ステッチ選択ダイヤル	6
A,B,C,D,E表示とステッチ仕様	
ステッチ選択一覧表	7

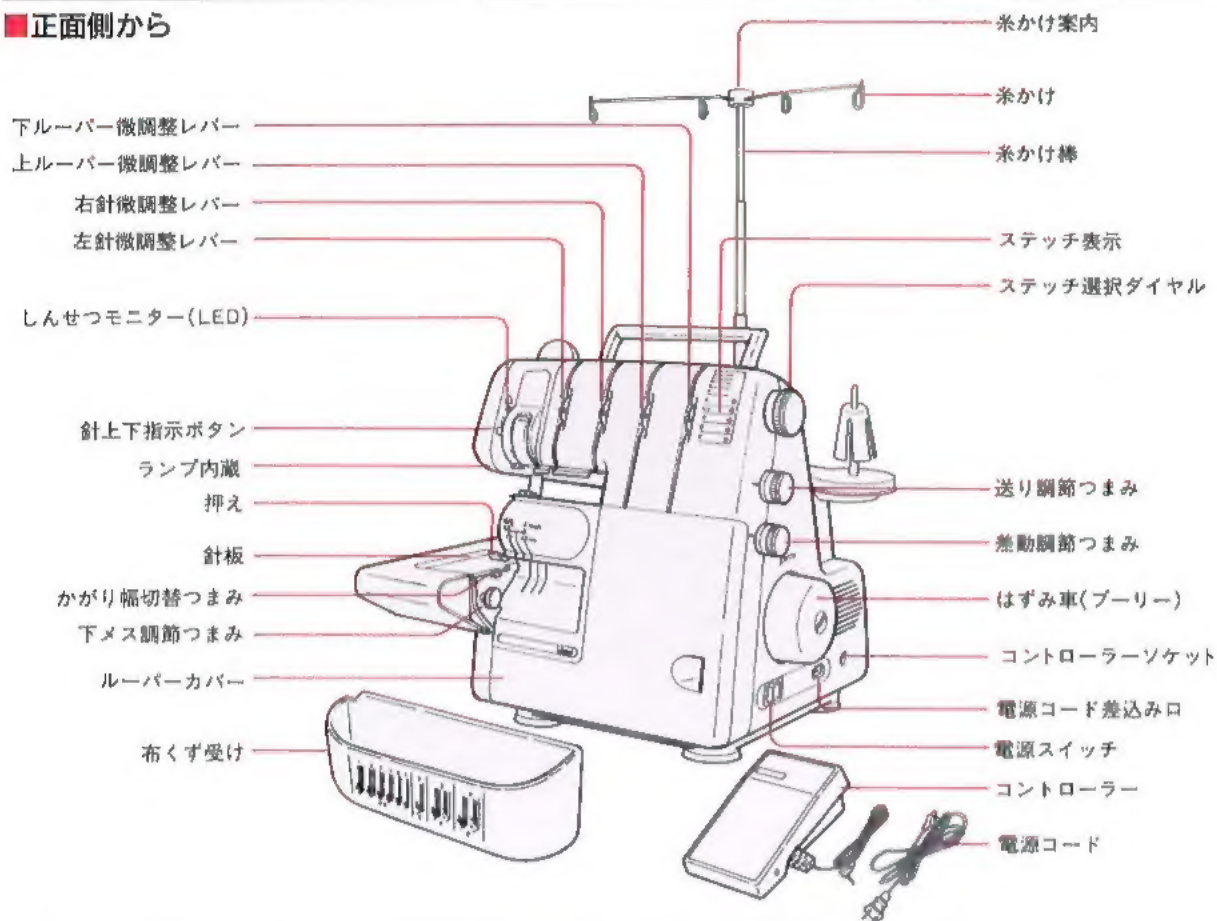
糸のかけ方	8
糸かけ順序	8,9,10
1,上ルーバー糸	
2,下ルーバー糸	
3,右針糸	
4,左針糸	
ためし縫い/正しい縫い目	10
糸調子の微調整	11
送り調節/下メス調節	12
差動調節	13
実際の縫い方	14
まち針の打ち方。テープ付け。ステッチガイドの使い方。	
ギャザーの寄せ方。	
知っておくとちょっと便利なこと	15
布角で糸を切らずにかがり縫いを。	
糸を取替えるとき、糸をつなぐには。	
色糸の節約は、針糸がキー。押えの印について。	
縫い始め、縫い終りの糸の始末	16
縫い目のほどこ方	18
飾り縫いの縫い方	17
上メス、下メスの交換	17
ランプの交換	17
掃除と注油/仕様表	17
故障かな?というときは	裏表紙
別売付属品	裏表紙

■付属品

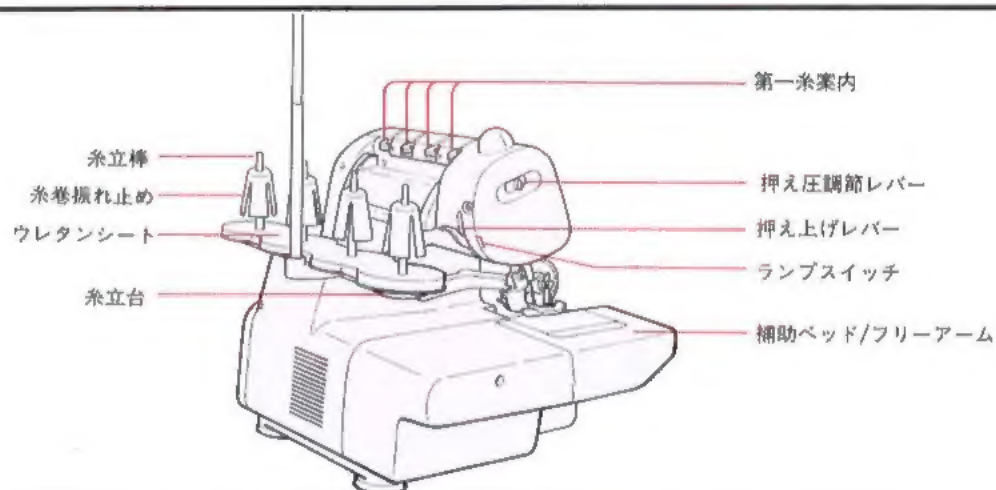


主な各部のなまえ

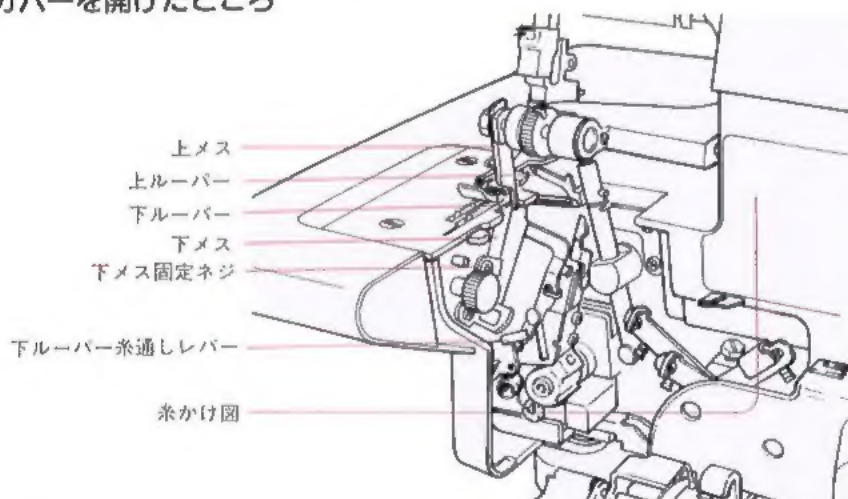
■正面側から



■裏側から

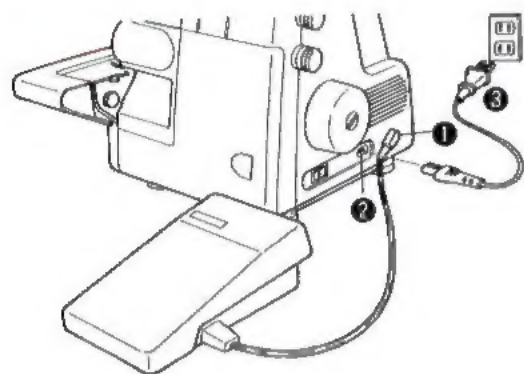


■ルーバーカバーを開けたところ



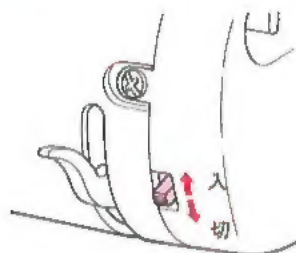
動かす前の準備

■コントローラーと電源コードのとりつけ



- ①コントローラーのプラグをさし込みます。
- ②電源コードをさし込みます。
- ③室内コンセントへさし込みます。

■ランプスイッチ



*電源スイッチを入れないと
ランプは点灯しません。

■電源スイッチ

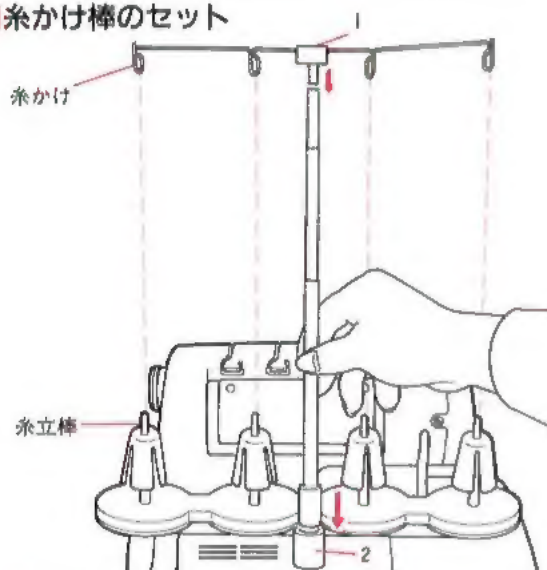


⚠ 注意

ミシンをお使いにならないときは
下記のことを行ってください。

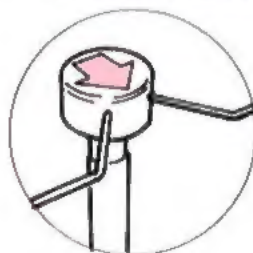
1. 電源ランプスイッチを〇(切る)にしてください。
2. 電源プラグは必ず室内コンセントから、はずしてください。
3. コントローラーの上に物を乗せないでください。

■糸かけ棒のセット



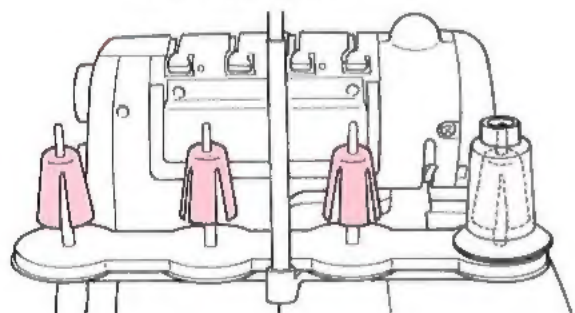
1. 糸かけ案内を糸かけ棒にさし込みます。
2. 糸かけ棒をミシン後部へさし込みます。
その時、糸かけが糸立棒の真上になるようにします。

*糸かけ案内先端の矢印を
ミシン正面に向けます。

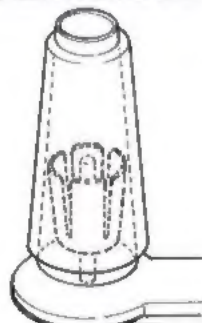


■糸ゴマのセット

●ロック用糸の場合

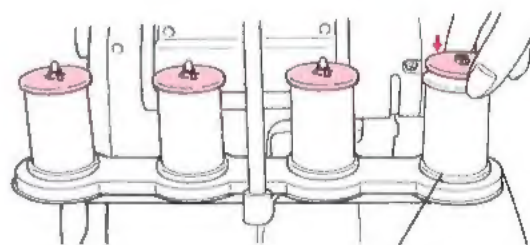


●大型糸巻き糸の場合



内径の大きい糸巻き糸は
糸巻振れ止めを逆さにします。

●家庭用糸ゴマの場合

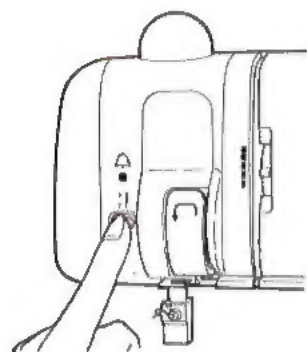


切り込み部

糸巻振れ止めを抜きとり、糸ゴマの切り
込み部を下に差し込み、糸ゴマ当て座の
凸部を上差し込みます。

各操作部とはたらき

■針上下指示ボタン



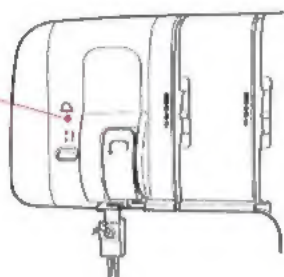
- 針が下にあるとき…
押しますと針が上にあがります。
- 針が上にあるとき…
押しますと下にさがります。

※押えが上がっているときと、ルーパーカバーが開いているときは動きません。

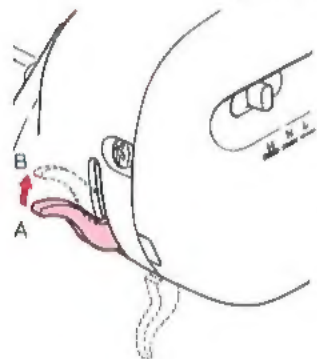
■しんせつモニター(LED)

押えを上げると表示ランプが点灯します。

押えを上げた状態とルーパーカバーを開いたままスタートさせるとランプが点滅します。そのときミシンは動きません。



■押え上げレバー (糸かけをしやすくするため押えレバーをあげるると糸調子皿が開らくようになっています。)

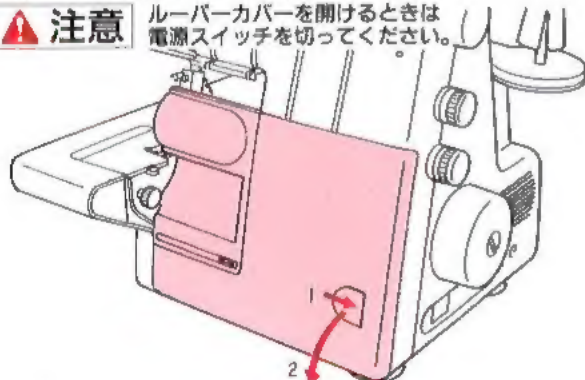


- A. 通常の場合、A位置まで上がります。
- B. 押えの交換や厚布など押えと針板とのすき間を必要とするとき、B位置まで上げます。

※押えが上がっているときはミシンは動きません。

■ルーパーカバーの開閉について

注意 ルーパーカバーを開けるときは電源スイッチを切ってください。



●開け方

1. 右側へ引きます。
2. 手前に倒します。

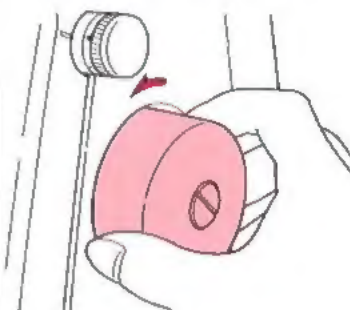
●閉じ方

ルーパーカバーを上にあげ、軽く向こう側に押すと自動的に閉じます。

※ルーパーカバーが開いているときは安全のためミシンは動きません。

■はずみ車(プリー)について

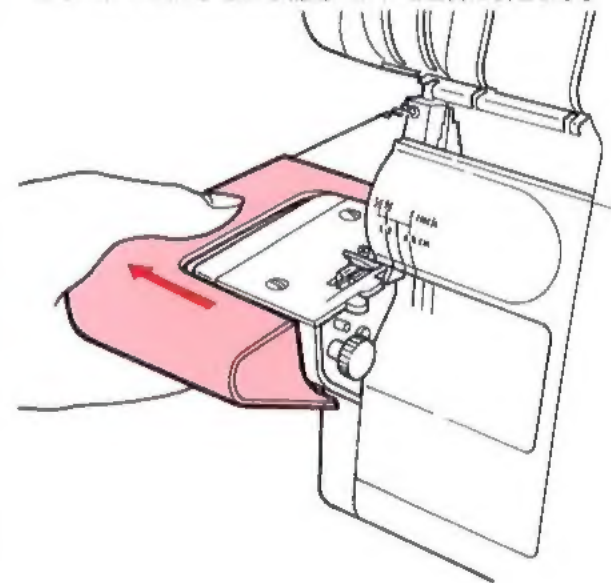
はずみ車は手前に回します



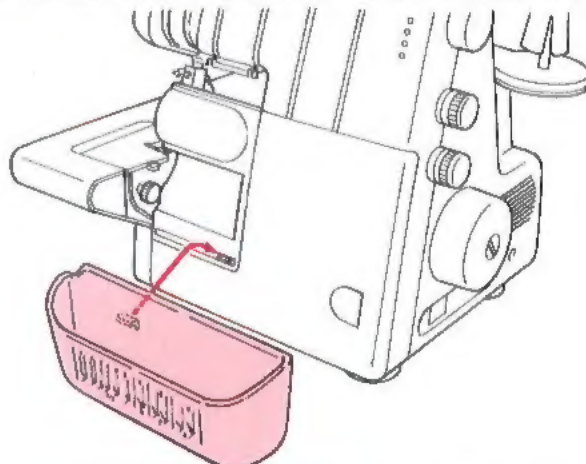
※糸を通したあと、縫い始め、縫い終わりなど、はずみ車を回すときは必ず手前に回してください。

■補助ベッド/フリーアーム

フリーアームにするには補助ベッドを左側に引きます。



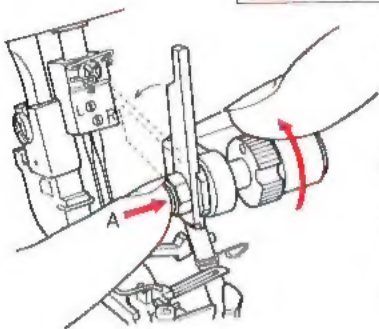
■布くず受けの使い方(縫製中の切断布を受けます)



※布くず受けの正面に縫い目の種類とステッチ選択ダイヤルの表示記号がついていきますので、ご参考にして下さい。

■上メスの解除

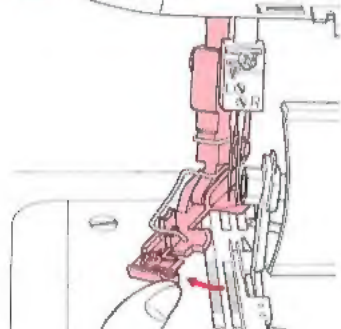
注意 上メス解除のときは電源スイッチを切ってください。



1. メスが一番上になる位置で止めて、ルーバーカバーを開けます。
2. A部を右いっぱいまで、押します。
3. その状態で右側のつまみを矢印の方向に回します。
4. 向こう側にしてストッパー位置で止めます。

■押えの解除(針への糸通しやテープ入れが容易になります)

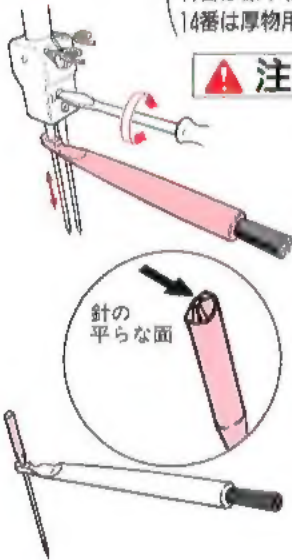
注意 押えを解除するときは電源スイッチを切ってください。



1. 針位置を一番上まであげます。
2. 押えを上げます。
3. 押えの手前を左側に押します。

■針の交換 (使用針は家庭用ミシン針のHA×ISPの11番、14番です。11番は標準(薄物、普通物用)です。14番は厚物用です。)

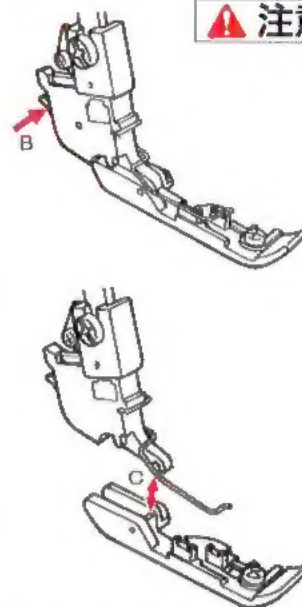
注意 針の交換のときは電源スイッチを切ってください。



1. 針を一番上まであげます。
2. 掃除用ブラシの反対側の針穴に針をさし込みます。
3. ドライバー(小)を使い針止めネジをゆるめて針をはずします。
4. 掃除用ブラシの針穴に新しい針の平らな面を向こう側にして針を入れ、針とりつけ溝穴の一番上まで差し込んでから、しっかりとネジを締めます。

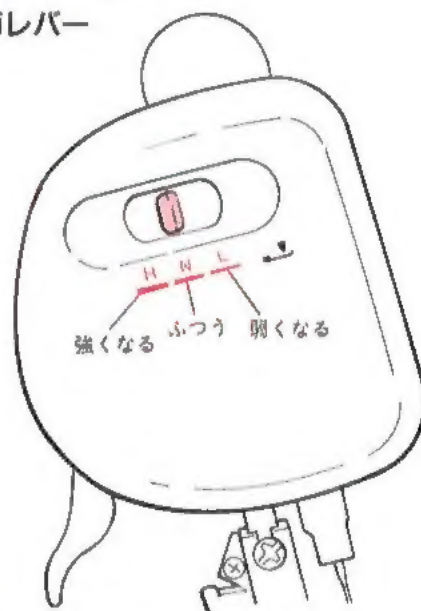
■押えの交換

注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。



1. 針を1番上まであげます。
2. 押えを上げます。
3. 口部を押すと押えがはずれます。
4. 押えをとりつける場合は押え上げレバーを一番上にあげ、押えを下に置き、押えのピンをホルダーの溝の下に(O)正しく置き、押え上げレバーを下げれば自動的にセットされます。

■押え調節レバー



- N**: 普通地、通常のとき合わせます。
H: 押え圧力が強くなる。
 デニム、ツイード、堅いリンネルなど厚手の布地。
L: 押え圧力が弱くなる。
 ジョーゼット、ローン、トリコットなど薄手の布地。

■布地・糸・針の関係

・かがり縫い、合わせかがり縫いの目安です。

	布地の種類	糸の種類	ミシン針
薄地	ジョーゼット、ローン トリコット	スパン糸 80番～90番	HA×ISP 11番 (ニット針)
普通地	ポプリン、ギンガム ブロード、ギャバジン メリヤス	スパン糸 60番～90番 フィラメント糸 50番～80番 (テトン)	HA×ISP(ニット針) 11番～14番
厚地	デニム、ツイード ジャージー	スパン糸 60番 フィラメント糸(テトン) 60番	HA×ISP 14番 (ニット針)

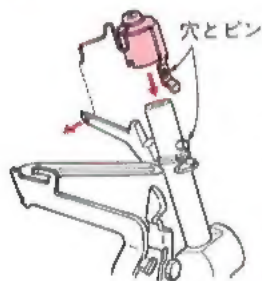
ステッチ選択

このロックミシンは8種類のステッチ（縫い目）仕様の糸調子がセットされています。

基本ステッチ…5種類、
2本糸切替アタッチメント使用…3種類 } 計8種類

種類	項目	糸数	針数	ステッチ仕様
1	基本ステッチ	4本糸	2本	合わせ縁かがり
2				合わせ縁かがり
3		3本糸	1本	飾り縫い
4				全巻き縫い
5				細ロック
6	付属の 2本糸切替アタッチメント 使用	3本糸	2本	スーパーストレッチ縫い
7				幅広巻き縫い
8		2本糸	1本	飾り縫い、縁かがり

■2本糸切替アタッチメントの取付け方



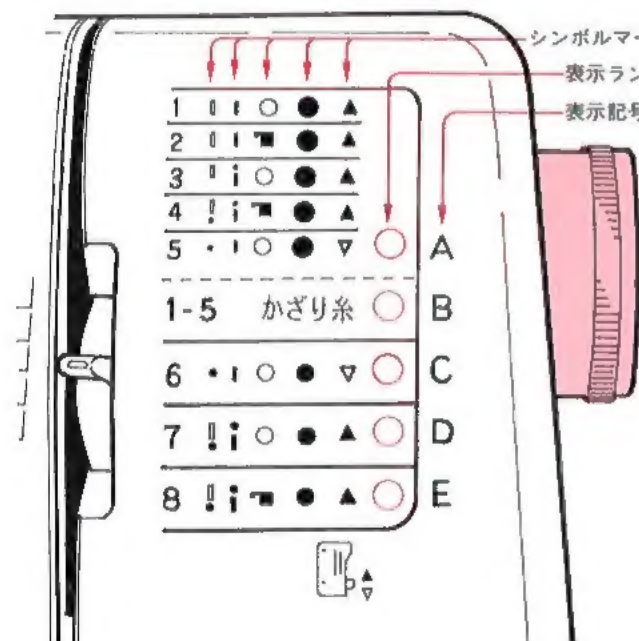
1. 上ルーバー軸の上にかぶせて、穴とピンを合わせます。
2. ルーバー穴に針金部をさし込みます。
3. 下ルーバー糸の糸かけのときは針金部を越えて押えの下へ糸をもって行きます。

注意 2本糸切替アタッチメント取り付けのときは、電源スイッチを切ってください。

■ステッチ選択ダイヤル

A, B, C, D, Eの表示記号に8種類のステッチ仕様に当てはめてステッチ選択ダイヤルを回します。

A～Eの表示記号を選びますとランプが点灯します。選ばれた表示記号のステッチ仕様に設定されます。



表示A, C, D, Eは下表のステッチ仕様に設定されています。
表示Bは表示Aと同じですが上ルーバー又は上下ルーバーにウーリー糸や飾り糸などを使った仕様に設定されています。

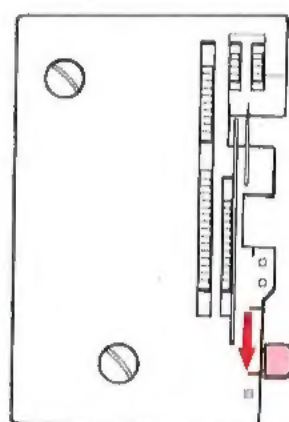
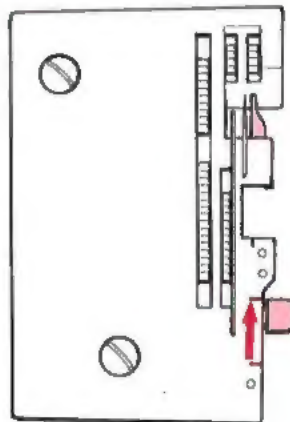
表示記号	ステッチ仕様	上ルーバーや下ルーバーに使用する糸
A	4本糸合わせ縁かがり縫い 3本糸スーパーストレッチ縫い 3本糸合わせ縁かがり縫い 2本糸幅広巻き縫い 3本糸細ロック縫い	スパン糸又はフィラメント糸
B	上記ステッチ仕様と同じ	ウーリー糸、飾り糸、毛糸など
C	3本糸全巻き縫い	スパン糸又はウーリー糸
D	3本糸飾り縫い	スパン糸、ウーリー糸、飾り糸
E	2本糸飾り縫い、縁かがり、	スパン糸、ウーリー糸、飾り糸

※ステッチ選択ダイヤルで各種のステッチが選ばれますが布地や糸の違いによって糸調子の調整が必要なときは11ページをご参照ください。

■かがり幅切替つまみ

●縁かがり縫いの場合：

●全巻き縫い、細ロックの場合：



- ・送り調節つまみ目盛：1～1.5
- ・下メス調節つまみ目盛：1～2
- ・差動調節つまみ目盛：N～0.7

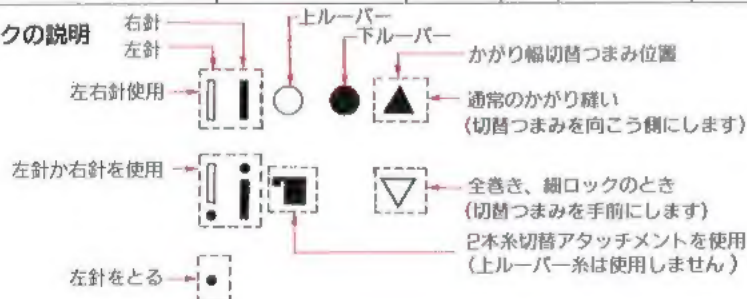
■左・右針と縫い目の幅

	左 針	右 針	左右針
かがり縫い			
全巻き縫い 細ロック	—	2mm	—

ステッチ選択一覧表

No	ステッチ仕様	シンボルマーク	縫い目の幅	ステッチ表示記号	使用糸	各調節つまみの目安	縫い目(例)と用途
1	4本糸 合わせ縁かがり縫い		5~7mm (左, 右針)	A	上, 下ルーバー: 左, 右針: スパン糸又は フィラメント糸	送り調節: 2.5 下メス調節: 1~2.5 差動調節: ニット地 N~2 織 布 N~0.7	スエット, ダブルニット地のアウターなどに。
2	3本糸 スーパーストレッチ縫い		5~7mm (左, 右針)	A	下ルーバー, 左, 右針: スパン糸又は フィラメント糸	送り調節: 2.5 下メス調節: 1 差動調節: N~2	スパッツ, レオタード, 水着などの伸縮地に。
3	3本糸 合わせ縁かがり縫い		5~7mm (左針) 3~5mm (右針)	A	上, 下ルーバー: 左/右針: スパン糸又は フィラメント糸	送り調節: 2.5 下メス調節: 1~2.5 差動調節: ニット地 N~2 織 布 N~0.7	Ｔシャツ, 薄地のブラウス, スカートなどに。
4	2本糸 幅広巻き縫い		5~7mm (左針) 3~5mm (右針)	A	下ルーバー: 左/右針: スパン糸又は フィラメント糸	送り調節: 1~2.5 下メス調節: 2 差動調節: ニット地 N~2 織 布 N~0.7	テーブルセンター, ランチョンマット, その他 インテリア小物などに。
5	3本糸 細ロック縫い		2mm (右針)	A	上, 下ルーバー, 右針: スパン糸又は フィラメント糸	送り調節: 1~1.5 下メス調節: 1~2 差動調節: N~0.7	薄地のブラウスの袖・フリル, 薄地スカートの 裾, スカーフ, ハンカチなど
6	3本糸 全巻き縫い		2mm (右針)	C	上ルーバー: ウーリー糸, スパン糸 右針: スパン糸又は フィラメント糸	送り調節: 1~1.5 下メス調節: 1~2 差動調節: N~0.7	薄地のブラウスの袖・フリルやスカートの裾, スカーフ, ハンカチなどに。
7	3本糸 飾り縫い		5~7mm (左針) 3~5mm (右針)	D	上ルーバー: ウーリー糸, スパン糸 レース糸, 毛糸 下ルーバー, 左/右針: スパン糸又は フィラメント糸	送り調節: 2~2.5 下メス調節: 1~2 差動調節: N	中薄地のブルオーバーなどに。
8	2本糸 飾り縫い, 縁かがり,		5~7mm (左針) 3~5mm (右針)	E	下ルーバー: ウーリー糸, スパン糸 レース糸, 毛糸 左/右針: スパン糸又は フィラメント糸	送り調節: 2~2.5 下メス調節: 1~2 差動調節: N	トレーナー, プルゾンなどのアクセント。 インテリア小物の飾りなどに。

シンボルマークの説明



※表紙のカラー写真をご参考にしてください。

1-5 かざり糸 ○ B

上ルーバー又は上下ルーバーに
ウーリー糸や飾り糸などを使用するとき,
表示記号Bを選びます。

美しい縫い目をつくるには……

正しい糸かけ順序で糸を通さねばなりません。

■準備 **⚠ 注意** 糸かけ、糸通しの際は電源スイッチを切ってください。

1. 糸かけ案内をつけた糸かけ棒を一番上までのばします。
2. 針を一番上にします。
3. 押えを上げます。
4. ルーバーカバーをあけます。

※上メスを解除しますとさらに糸通しが容易になります。

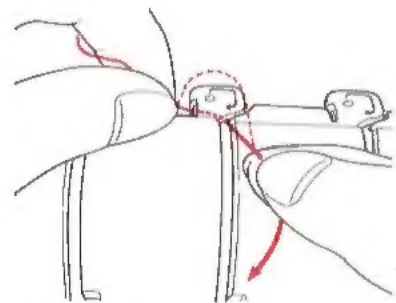
■糸かけ順序

糸かけ順序を明確にするために糸かけ図と色表示がついています。糸かけ手順は下記の順序で行います。

- 最初に、上ルーバー糸（青色印）
 2番目に、下ルーバー糸（赤色印）
 3番目に、右針糸（緑色印）
 4番目に、左針糸（黄色印）

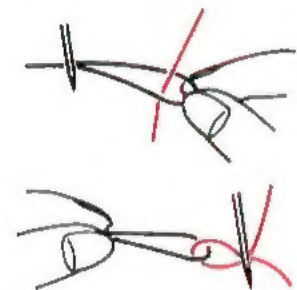
糸かけ、糸通しにはルーバーカバー裏面に付属されているピンセット、針糸通し器を使うと便利です。

■第1糸案内の糸のかけ方



糸かけ棒へかけた糸を下へもってきて第1糸案内の左側からかけて、下を通して手前に持てきます。

■針糸通し器



針糸通し器に糸を入れ、針糸通し器の先端から針穴やルーバー穴に入れ、糸を引き出します。

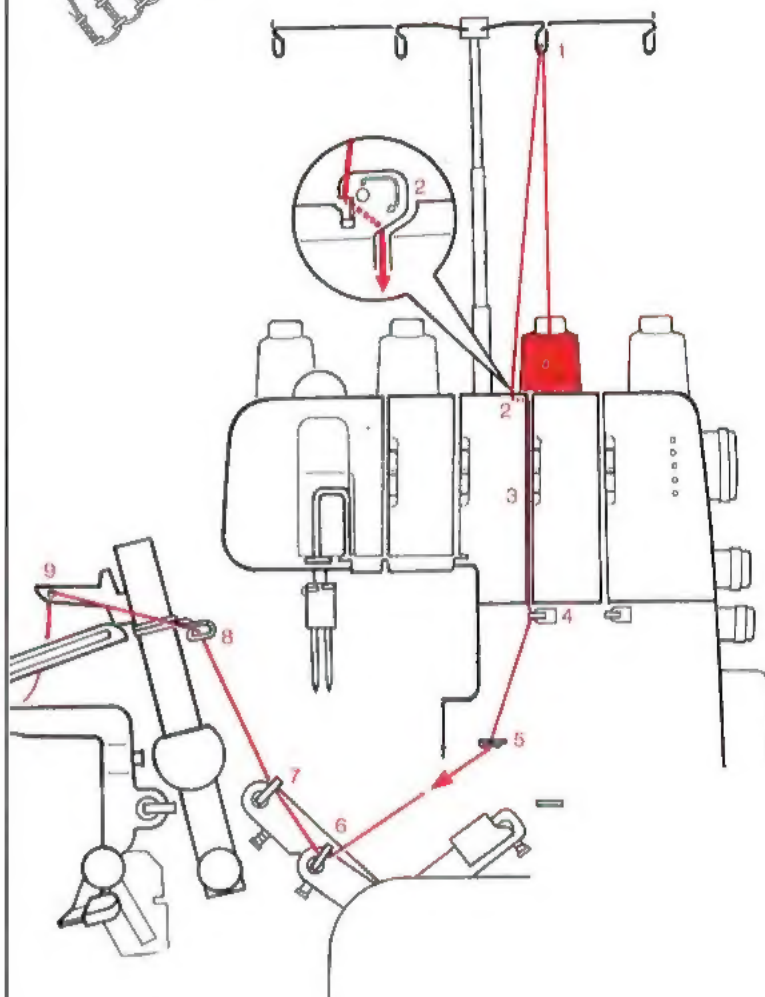
●よりの強い糸にはネットをご使用ください。

付属のネットを上ルーバー、下ルーバーの糸ゴマにかぶせると糸あばれがなくなります。



ネット

1番目の糸かけ 上ルーバー糸（青印）

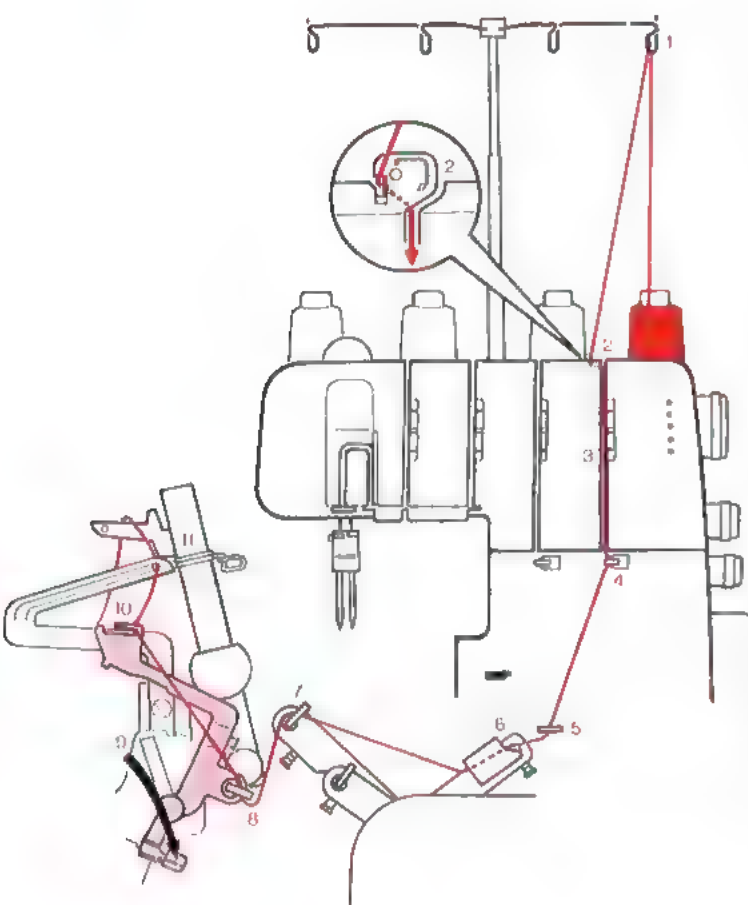
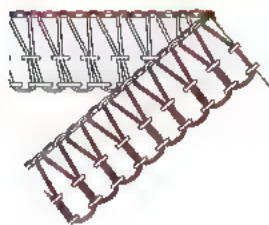


- (1) 糸ゴマから青色印の糸かけ案内の後から前にかけて。
- (2) 第1糸案内にかけます。
- (3) 溝に入れます。
- (4, 5, 6, 7, 8) 糸案内にかけます。
- (9) はずみ車を回し、上ルーバーが上にくる位置で糸を通します。
- (10) 糸の先端を約10cm引き出して押えの下に入れ、後ろに出します。

※押えが上っているか再度確かめます。
 押えが下っていると糸調子皿が開きません。

糸かけ順序(2)

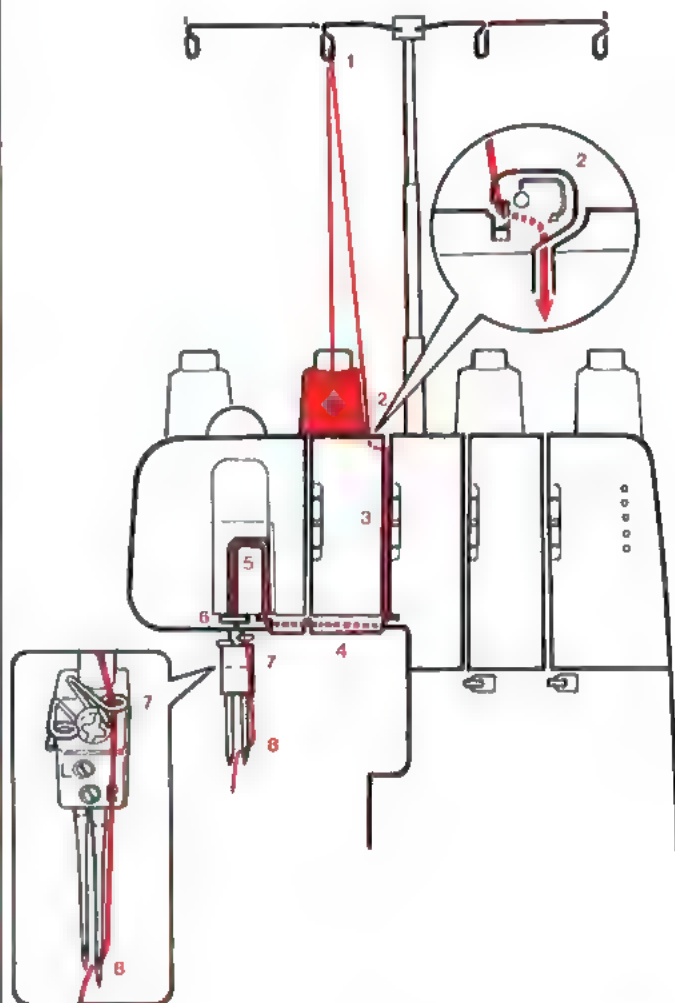
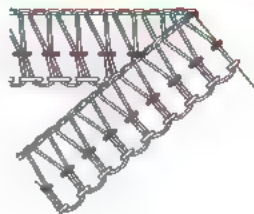
2番目の糸かけ 下ルーパー糸 (赤印)



- (1) 糸ゴマから糸を赤色印の糸かけ案内にかけます。
- (2) 第1糸案内にかけます。
- (3) 溝に入れます。
- (4, 5, 6, 7, 8) 糸案内にかけます。
- (9) 糸通しレバーをさげます。
- (10) 糸案内にかけます。
- (11) 下ルーパー穴に糸を通し、後ろへ10cmぐらい出します。
- (12) はずみ車を手前に回しますと糸通しレバーが上がります。
- (13) 引き出した糸を上ルーパーの上方から下へもって行き、押えの下に入れ、後ろに出します。

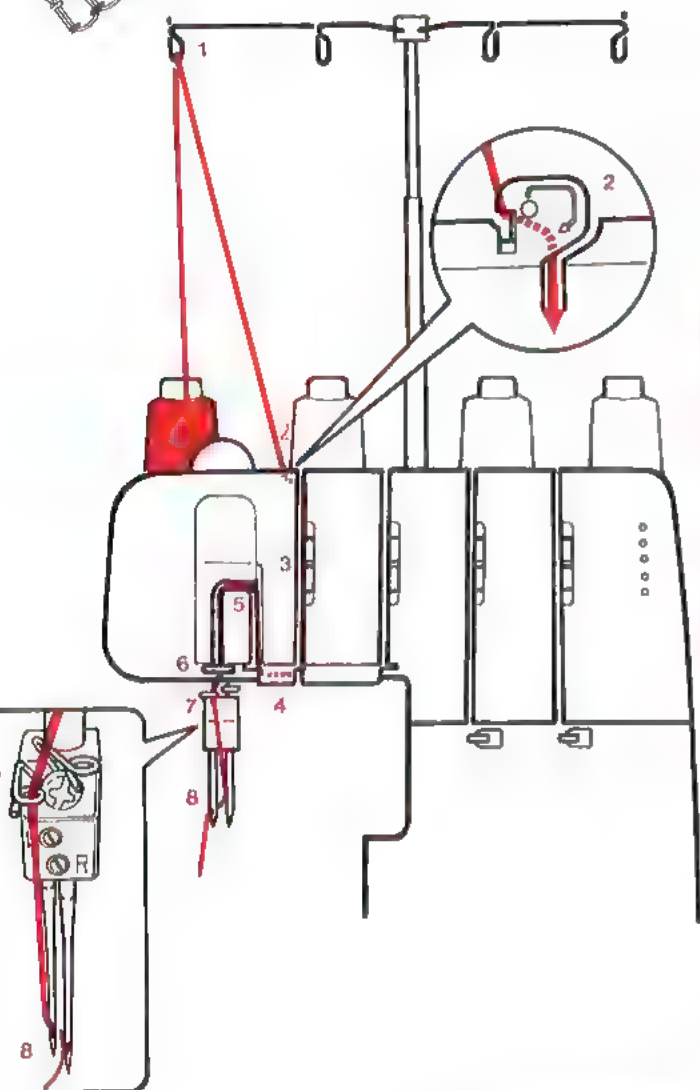
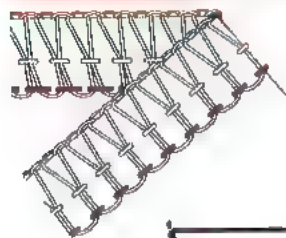
糸かけ順序(3)

3番目の糸かけ 右針糸 (緑印)



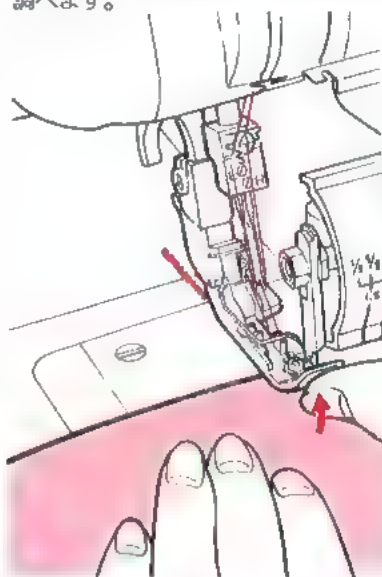
- (1) 糸ゴマから糸を緑色印の糸かけ案内にかけます。
- (2) 第1糸案内にかけます。
- (3) 溝に入れます。
- (4) 糸案内板の下に糸をかけます。
- (5) 天びんカバーの溝に入れます。
- (6) 糸案内にかけます。
- (7) 針棒糸案内にかけます。
- (8) 針が最上の位置で右針に糸を通します。
- (9) 糸を押えの下にして約10cm後ろへ引き出します。

4番目の糸かけ 左針糸 (黄印)

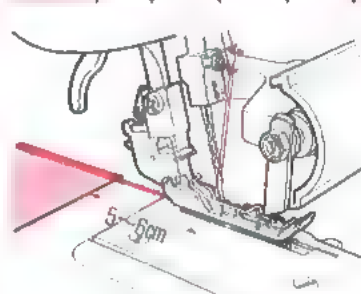


- (1) 糸ゴマからの糸を黄色印の糸かけ案内にかけます。
 - (2) 第1糸案内にかけます。
 - (3) 溝に入れます。
 - (4) 糸案内板の下に糸をかけます。
 - (5) 天びんカバーの溝に入れます。
 - (6) 糸案内にかけます。
 - (7) 針棒糸案内にかけます。
 - (8) 針が最上の位置で左針に糸を通します。
 - (9) 糸を押えの下にして約10cm後ろへ引き出します。
- 糸通しが終わったら、上メスを下げ、ルーバーカバーを閉じます。

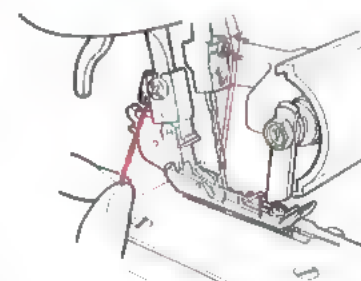
■糸かけが終わったら、ためし縫いをしてみましょう！
二枚合わせの布地を使い、縫い目や糸調子が正しいかどうか、調べます。



1. 上メスが下がっているかを確認めます。
2. 押えを下げます。
3. 糸かけした糸を押えの後ろ側で持ち、コントローラーを踏んで空環を6~7cm出します。
4. 押えの手前を指先で上げ布地を上メスのところまで入れます。
5. スタートさせます。



6. 縫い終わったら5~6cm空環を出します。

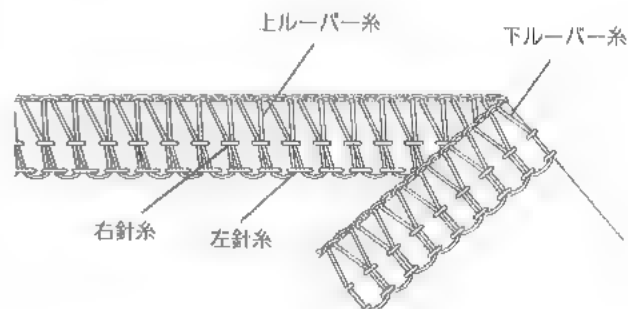


7. 片手で布地を押え、押えの後ろ側の糸切りに空環をかけて切ります。

※空環とは：布地がなくて、糸の縫い目形状ができたものです

■正しい縫い目 (2本針4本糸の例)

- 布端で上ルーバー糸と下ルーバー糸がからみ合っている。
- 左針糸と右針糸が布表、裏の両面から見て糸の浮きや遊びがない。

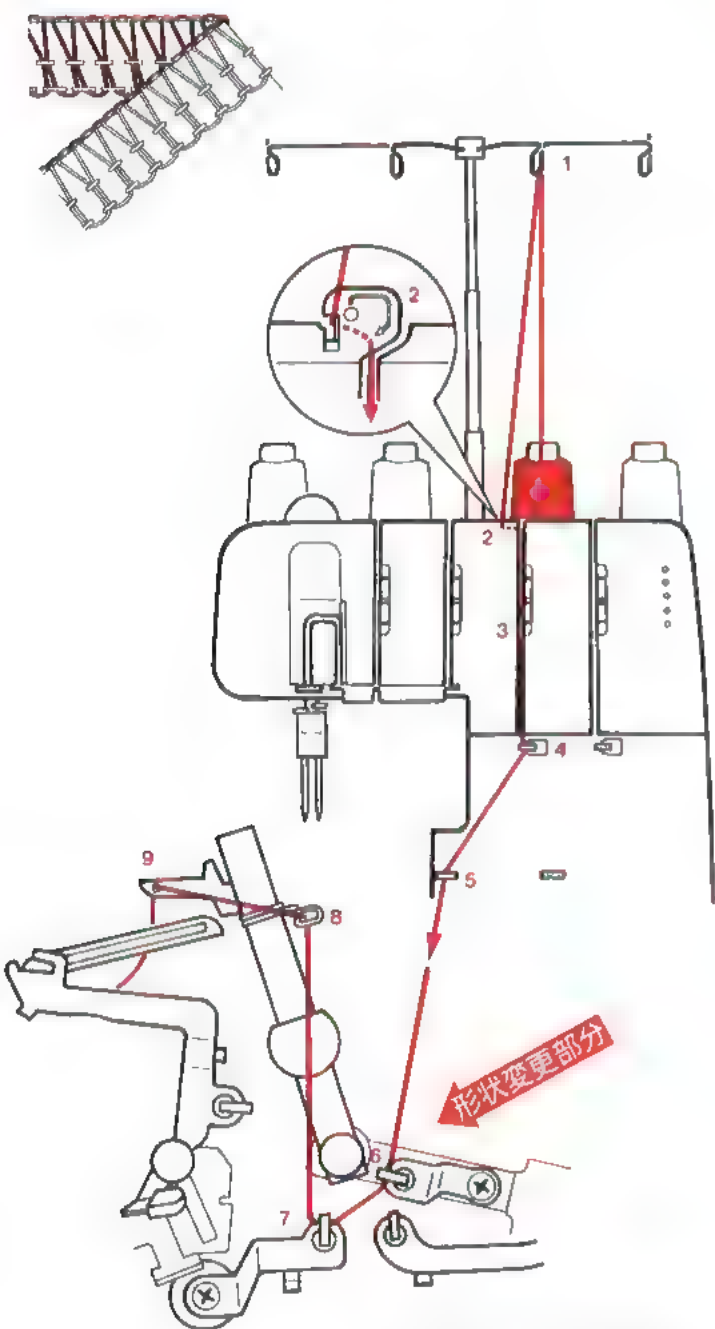


このロックミシンは糸かけ部分の形状変更されたものがあります。

お確かめください お手持ちのミシン本体をご覧になり、取扱説明書8、9ページの糸かけ順序(1)、(2)とこの印刷物とを確かめて、このものでしたら保存してください。

糸かけ順序(1)

1番目の糸かけ 上ルーバー糸 (青印)

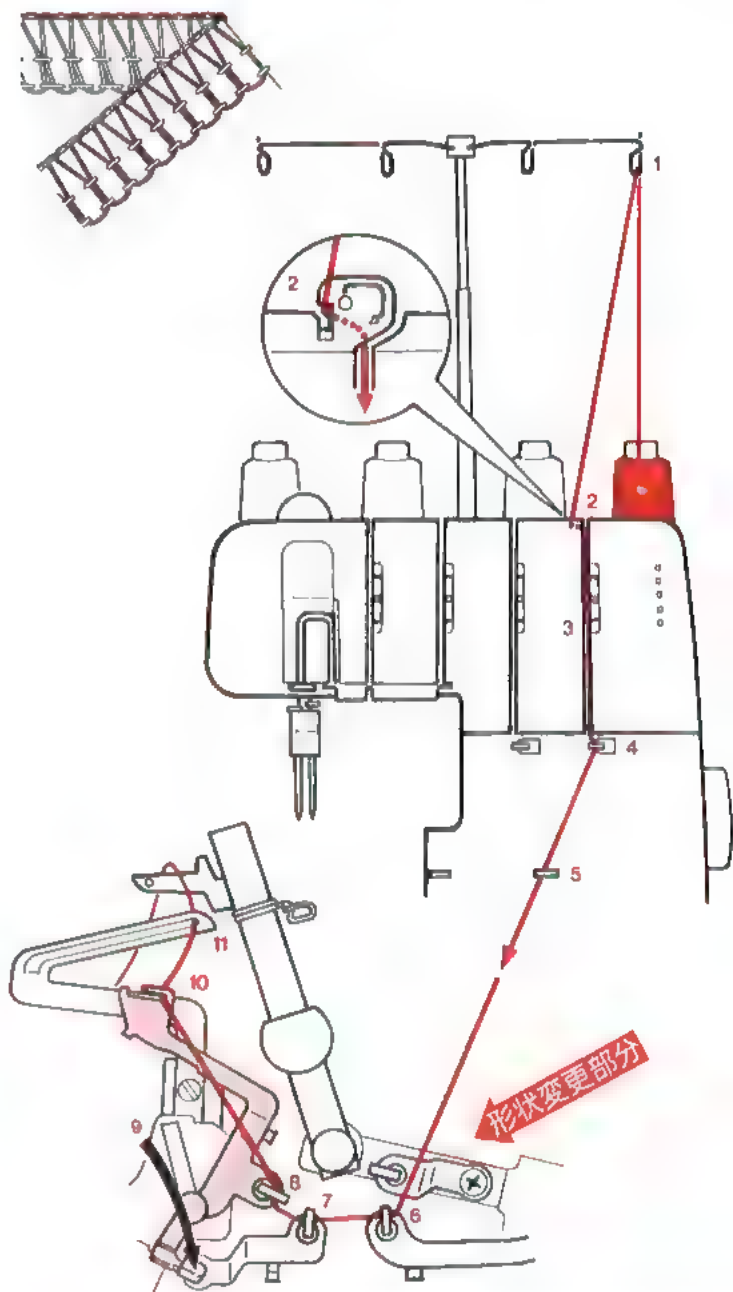


- (1) 糸ゴマから青色印の糸かけ案内の後から前にかけてかけます。
- (2) 第1糸案内にかけます。
- (3) 溝に入れます。
- (4, 5, 6, 7, 8) 糸案内にかけます。
- (9) はずみ車を回し、上ルーバーが上にくる位置で糸を通します。
- (10) 糸の先端を約10cm引き出して押えの下に入れ、後ろに出します。

※ 押えが上っているか再度確かめます。
押えが下っていると糸調子皿が開きません。

糸かけ順序(2)

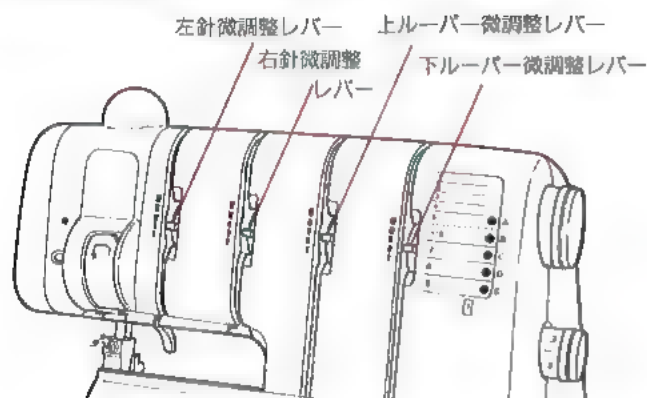
2番目の糸かけ 下ルーバー糸 (赤印)



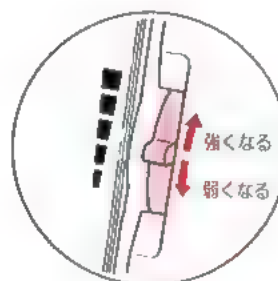
- (1) 糸ゴマから糸を赤色印の糸かけ案内にかけます。
- (2) 第1糸案内にかけます。
- (3) 溝に入れます。
- (4, 5, 6, 7, 8) 糸案内にかけます。
- (9) 糸通しレバーを上げます。
- (10) 糸案内にかけます。
- (11) 下ルーバー穴に糸を通し、後ろへ10cmぐらい出します。
- (12) はずみ車を手前に回しますと糸通しレバーが上がります。
- (13) 引き出した糸を上ルーバーの上方から下へもって行き、押えの下に入れ、後ろに出します。

糸調子の微調整

■各糸調子の微調整について



ステッチ選択ダイヤルで各種のステッチが選ばれますが布地や糸の違いによって調整が必要なときは各微調整レバーで調整します。



微調整レバーを上にする
と糸調子が強くなり、
下にする
と弱くなります。

■微調整が必要な縫い目の例

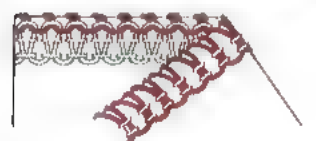
●3, 4本糸 合わせ縫かけり縫い

- ・上ルーバー糸が布裏までいっている。



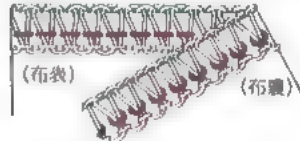
→上ルーバー糸を強めるか
下ルーバー糸を弱めます。

- ・下ルーバー糸が布表まできている。



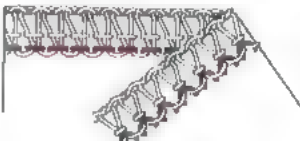
→下ルーバー糸を強めるか
上ルーバー糸を弱めます。

- ・右針糸が弱く布裏でループ状になっている。



→右針糸を強めます。

- ・左針糸が弱く布裏でループ状になっている。

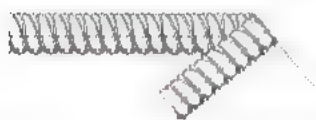


→左針糸を強めます。

●3本糸 スーパーストレッチ縫い

●2本糸 幅広巻き縫い

- ・左針糸が弱く布裏でループ状になっている。



→左針糸を強くするか
下ルーバー糸を弱めます。

●3本糸 飾り縫い

- ・下ルーバー糸が布表にきすぎている。



→上ルーバー糸を弱めるか
針糸が下ルーバー糸を強めます。

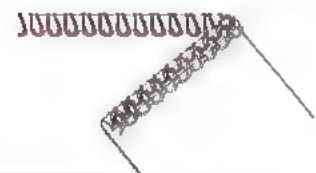
- ・下ルーバー糸が布裏に行きすぎている。



→上ルーバー糸又は下ルーバー糸を強めるか、針糸を弱めます。

●3本糸 細ロック縫い

- ・上ルーバー糸が布裏に行きすぎている。



→上ルーバー糸を強め、
針糸も強めます。

●3本糸 全巻き縫い

- ・針糸と下ルーバー糸が布裏で一線上になっていない。



→下ルーバー糸又は針糸を強めるか、上ルーバー糸を弱めます。

●2本糸 飾り縫い、縁かけり

- ・下ルーバー糸が布裏に行きすぎている。



→下ルーバー糸を強めるか針糸を弱めます。

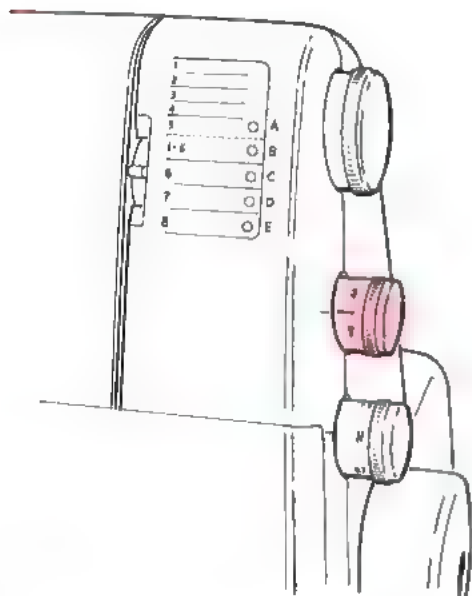
- ・針糸が布表にきすぎている。



→下ルーバー糸を弱めるか針糸を強めます。

送り調節・下メス調整

■送り調節つまみ(縫い目の長さ調節)



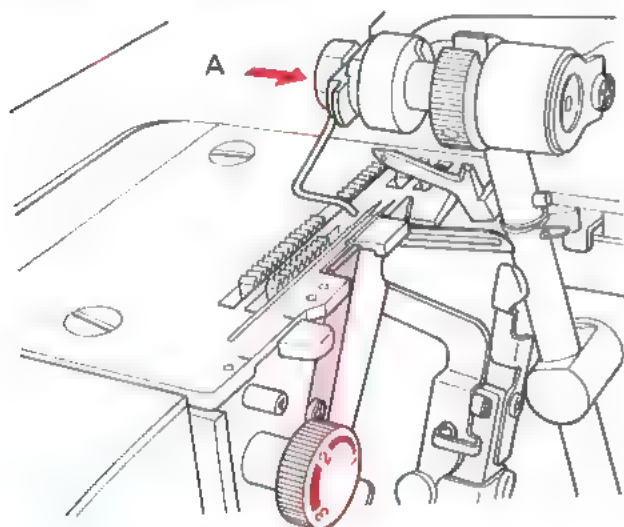
縫い中でも「1~4」の範囲で調節できます。

- 普通の縫かがりは「2.5」が標準です。
- 全巻き縫い、細ロック縫いは「1~1.5」が最適です。
- ブラインドステッチ(まつり縫い)「別売の押えを使用」は「4」にします。



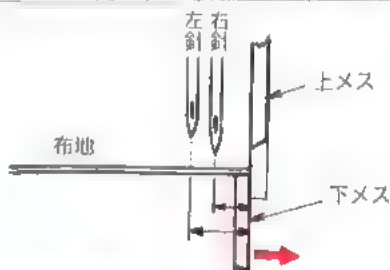
■下メス調整つまみ(かがり幅と布端カット位置の調節)

⚠ 注意 下メス位置調整のときは電源スイッチを切ってください。



上メスを解除するか、A部を押しながら下メス調節つまみを回します。

下メス調節つまみ目盛	1	2	3
右針と布カット幅	3mm	4mm	5mm
左針と布カット幅	5mm	6mm	7mm



- 縫い目に布端がとどかない。
(縫い目の中で布端にすき間がある)
- ・つまみの目盛を大きくします。



- 縫い目に布端が飛び出しているか、カールしている。
- ・つまみの目盛を小さくします。

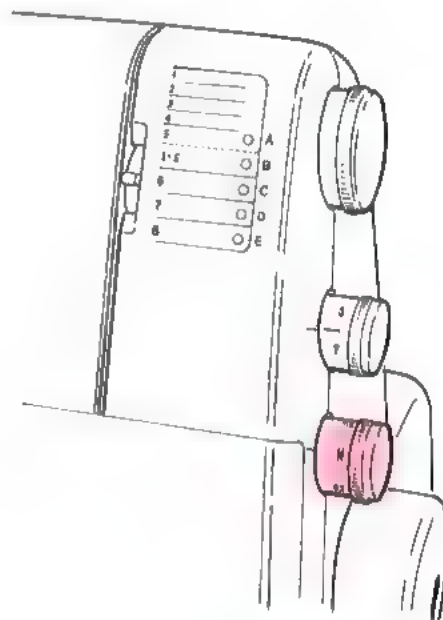
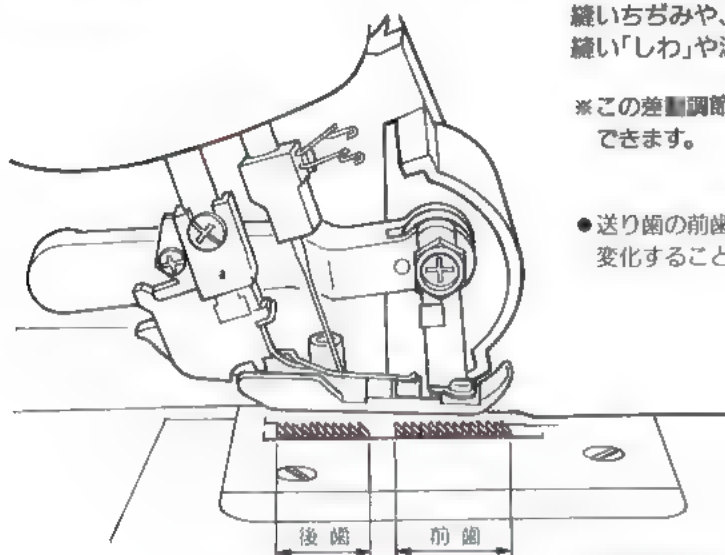
差動調節

■差動調節つまみ

縫いちぢみや、縫い伸びしやすい布地は差動調節つまみを使いますと縫い「しわ」や波うった布地が平らに美しく仕上がります。

※この差動調節を応用して、一枚の布地にギャザー寄せ(14ページ参照)ができます。

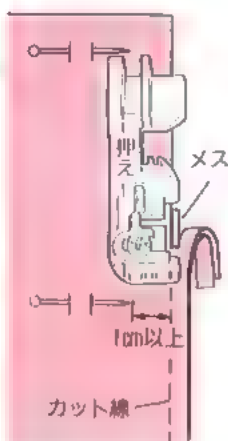
- 送り歯の前歯と後歯の動きの速さを変化することにより調節します。



縫い伸びしやすい布地		縫いちぢみしやすい布地	
布地	厚地ニット地 厚地ジャージー その他伸びる布地	中厚ニット地 メリヤス ジャージー	織 布 ジョーゼット リネン、サテン ローン
差動つまみ目盛	N → 1.5~2	N → 1.5	N(差動なし)
差動調節有無の縫い目			

実際の縫い方

■まち針の打ち方

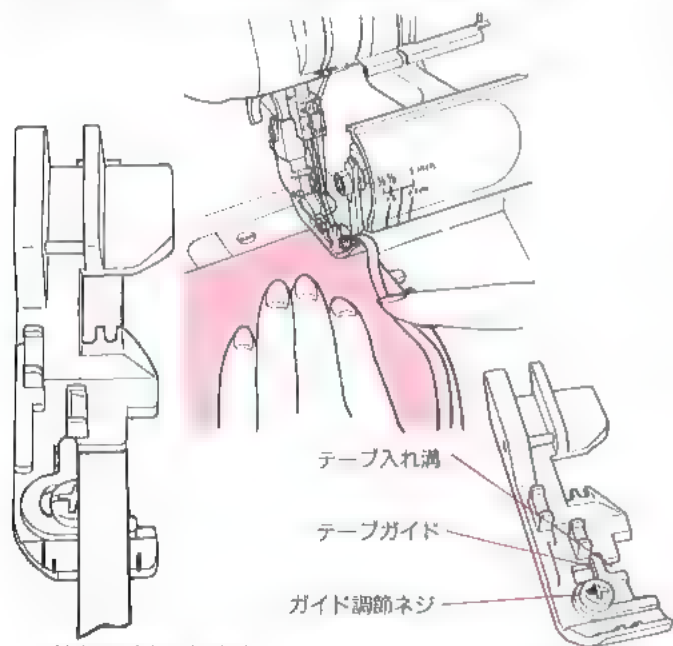


2枚の布地をずれないように縫い合わせるためにまち針を打ちますがロックミシンにはメスが内蔵されていますから、メスにまち針が当たりますとメスが破損します。そのためにメス位置より離してまち針を打ってください。

どうしても布端近くにまち針を打つときは縫い中まち針が上メスの近くに來ましたら必ず、まち針はずしてください。

■テープ付け

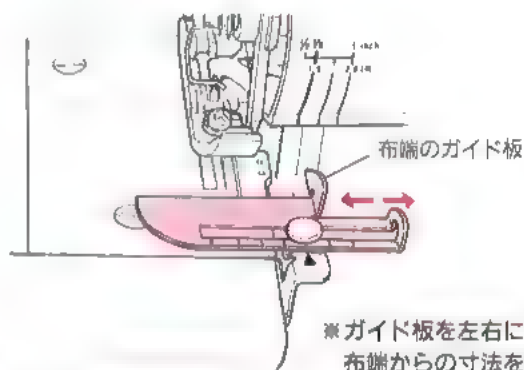
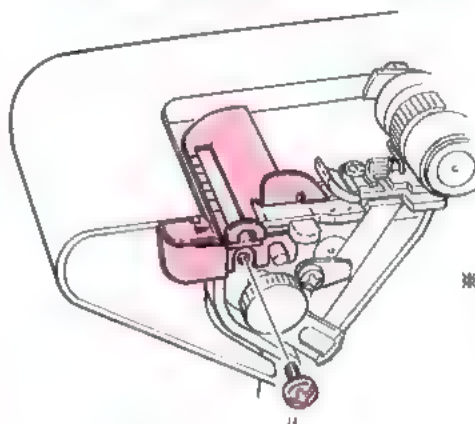
ニット地などの伸縮性がある布地の肩線や脇線などに使います。伸び止めテープを縫い付けますと必要以上伸びません。



1. 針を一番上にします。
2. 押えを上げて、テープを押えのテープ入れ溝に右側から入れて、押えを下げます。
3. ガイド調節ネジをゆるめてテープガイドをテープの幅に合わせて、ガイド調節ネジをしめます。
4. 針上下指示ボタンでテープの上に針を落とします。
5. 縫いつける布を押えの下におきます。
6. テープを軽く保持しながら縫います。

■ステッチガイドの使い方

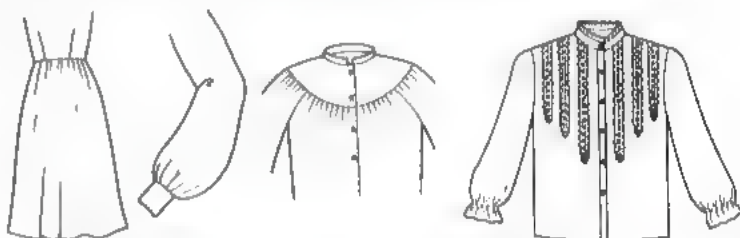
布地の端より一定の寸法でカットして縫うとき、また、上メスを解除して(飾り縫いなど)縫うときステッチガイドを使いますと寸法が安定します。



■ギャザーの寄せ方

薄地、普通地の一枚の布地にギャザー寄せができます。

(例) スリーブヘッド、裾、ヨーク、レース、フリルなど



1. 差動調節つまみの目盛を「2」に合わせます。
2. 送り調節つまみの目盛を「4」に合わせます。

4本糸ギャザー寄せ



3本糸ギャザー寄せ



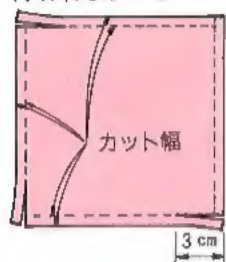
※極端にギャザーを寄せるときは縫い上がってから針糸を指で引張ります。

※差動送りをしない場合、差動調節つまみを「N」に戻します。

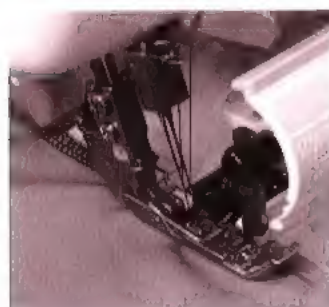
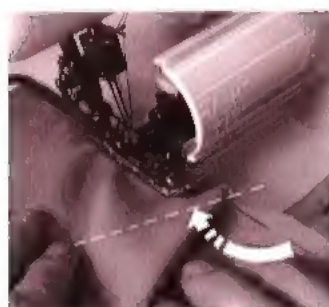
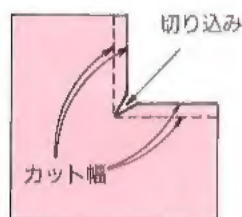
知っておくと ちょっと便利なこと

■布地の角で糸を切らずに かかり縫いをするには

1). 外角のとき



2). 内角のとき



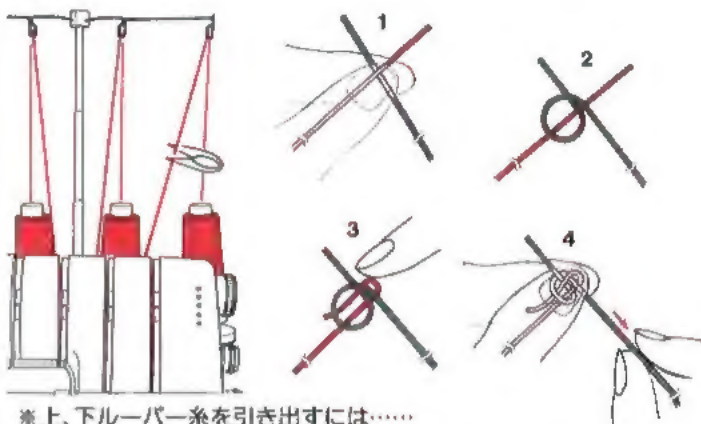
1. カット幅の角から3 cm切り込みを入れます。

2. 一方の角まで縫い進んだとき、針を上げてから押えを上げます。
(1)で切り込んだところへ上メスを当てます。

3. 押えを下げてから縫い進みます。

■糸を取り替える時、糸をつなぐには?

ほかの素材・色の糸に取り替える場合や、糸ゴムの糸の残量が少なくなってきた場合。第1糸案内より手前で、もとの糸と新しい糸を結び目の玉が大きくならないようにハタ結びで結びます。



※上、下ルーバー糸を引き出すには……

針を下までさげて、押えを上げます。はずみ車を1回転ぐらい正逆まわし、上、下ルーバー糸を引き出します。

※針糸の引き出すには……

押えを上げてから針穴の手前で糸を切り、引き出して新しい糸を針穴へ通します。

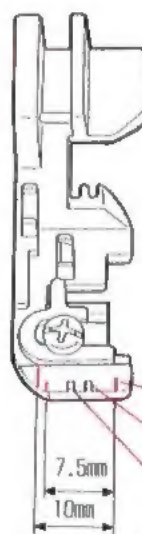
■色糸の節約は針糸がキー



1. あらかじめカット幅まで内角のところへ切り込みを入れておきます。

いくつも同じ色の糸ゴマを買うのは不経済。そこで使う糸の分量がずっと少ない針糸には、ルーバー糸から糸ゴマに取るか、普通のミシンのボビン糸を糸立棒に入れて使うこともできます。

■押えの印について



布地を押えの下へ入れるとき押えの印をガイドとして使います。

2. 一辺を縫い始めたらもう一辺と一直線になるように下側へ折ります。

3. このまま縫い進めると内角が縫い終わります。

メス位置(下メス調節つまみ目盛「2」のとき)布地のカット位置です。

右針位置

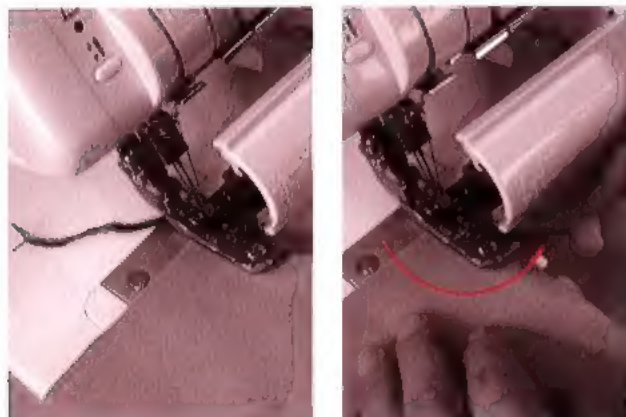
左針位置

縫い始め、縫い終りの糸の始末・縫い目のほどこ方

ロックミシンの場合、縫い始め、終りの糸をそのままにしておくとほつれてしまいます。その始末には4つの方法がありますが、お好みの方法をお選びください。

1). ロックミシンでの始末

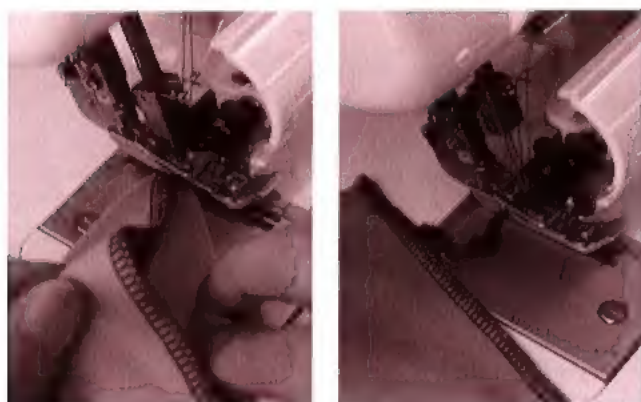
① 縫い始めの糸の始末



1. 空環を3~4cm出します。
2. 布地を入れ2~3針布地の上を縫います。
3. 押えを上げます。
(針は布地に落したままにします)
4. 空環を押えの左側から前に持ってきて押えの下へ入れ、上メスの右側へ持ってきます。
5. 押えを下げます。
6. 縫い進めます。

※空環の余分な糸はメスで切れ、その上をかがり縫いをしますから縫い始めの糸はほつれません。

② 縫い終りの糸の始末



1. 布地の終りで針を止めます。
2. 針を上げます。
3. 押えを上げます。
4. 布地を裏返して、かがり幅に合せて針を落します。
5. 押えを下げます。
6. 今まで縫ったところが上メスに当たらないように2~3cm縫い進み、布地をはずします。
7. 空環の始末をします。

※これで普通のミシンの返し縫いのように、ほつれ止めが完了です。

2). トジ針を使う始末



縫い始め、終りの空環を2~3cm残し、トジ針で縫い目の中に入れると縫い目はほつれません。

3). 手芸ボンドでの始末



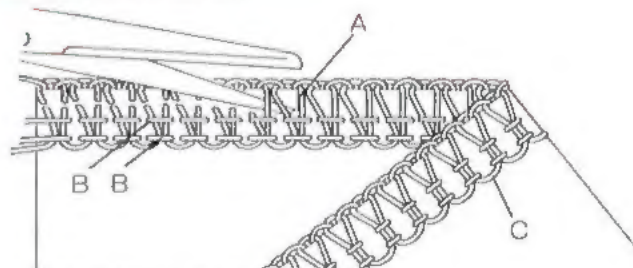
布上の空環の根元に手芸用ボンドを少しつけて10分間位で乾燥しますからその後、余分な空環を落します。

4). 糸を結ぶ方法



4本、3本又は2本かがりの糸のすべてを1本にまとめて結び、結び目を布上ぎりぎりまでの位置にします。そして余分な糸を落します。

■縫い目のほどこ方



●3本糸縁かがりの目ほどこ

A部の糸をはさみで切り、針糸(B)を引っばると縫い目がほどこけます。

●4本糸縁かがりの目ほどこ

上ルーバー(A)のすべてをハサミで切り、下ルーバー糸(C)を引っばると縫い目がほどこけます。

※市販のリッパーで目ほどこする場合

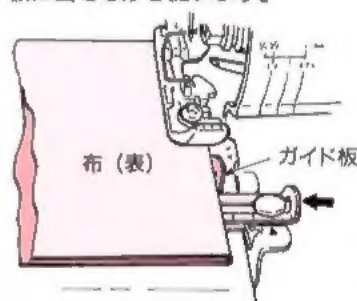
上ルーバー糸と下ルーバー糸を布端で同時にリッパーで切り進みます。そして針糸をとところどころ(2~3cm間隔)をリッパーでつまんで切りますと布地をいためず縫い目がほどこけます。

飾り縫いの縫い方 / 上メス、下メス交換・ランプの交換・掃除と注油・仕様表

■2/3本糸の飾り縫い

1. ステッチガイドを取りつけ、ステッチガイドのガイド板を左いっぱいに押します。(14ページ参照)
2. 上メスを解除します。(5ページ参照)
3. 2本糸の場合：
 - (1) 2本糸切替えアタッチメントを取付けます。(6ページ参照)
 - (2) 下ルーパー糸を飾り糸にします。
(針糸はフィラメント糸が最適ですが、スパン糸でも出来ます)
 - (3) ステッチ選択ダイヤルを「E」に合わせます。
- 3本糸の場合：
 - (1) 上ルーパー糸を飾り糸にします。
(針糸と下ルーパー糸はフィラメント糸が最適ですが、スパン糸でも出来ます)
 - (2) ステッチ選択ダイヤルを「D」に合わせます。

4. 送り調節つまみは2～2.5に合わせます。
5. 針は左針か右針か1本にします。
左針の場合…幅の広い飾り縫いができます。(5～7mm)
右針の場合…幅の狭い飾り縫いができます。(3～5mm)
6. 布地を二つに折り、折り山をステッチガイドのガイド板に当てながら縫います。



7. 縫い上ったら、二つに折った布地を開きます。

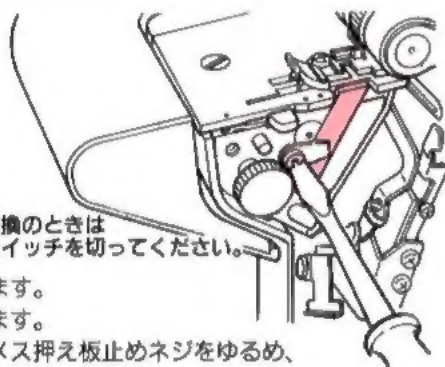
■上メスの交換

上メスは特殊超硬材を使用していますので、普通は交換する必要はありませんが、刃先がかけたとき交換します。
そのときは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

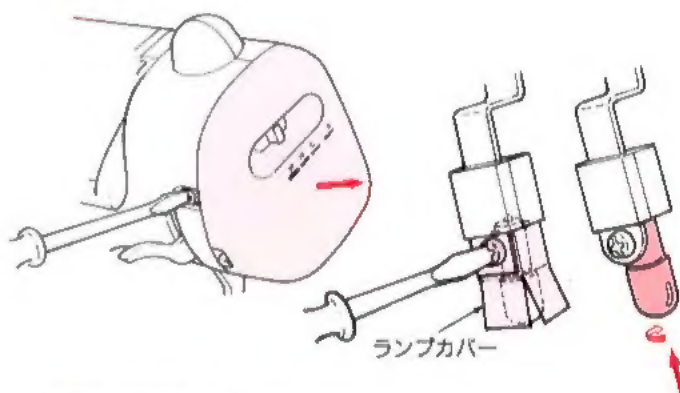
■下メスの交換

注意 メス交換のときは電源スイッチを切ってください。

1. 針を一番上にします。
2. 上メスを解除します。
3. ドライバーで下メス押え板止めネジをゆるめ、下メスをとりはずします。
4. 新品(別売)の下メスを下メスホルダーの溝に入れ、下メスを突き当るまで下に押します。
(下メスの刃先が針板上面と同じ高さになります)
5. 最後に下メス押え板止めネジを強くしめて、固定します。
下メスはお買い上げ販売店でお買い求めください。



■ランプの交換

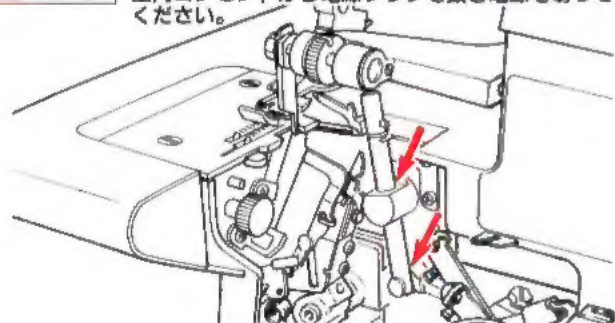


注意 ランプ交換のときは電源スイッチを切ってください。

1. 押え上げレバーの上のネジをはずして、面部カバーを取りはずします。
2. ランプカバーとめネジをゆるめて、カバーをはずします。
3. ランプを上を押して、左にねじるとはずれます。
ランプの消費電力は12V 5Wです。
お買い上げ販売店でお買い求めください。

■掃除と注油

注意 掃除、注油のときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜き電源を切ってください。



ミシンをご使用になりますと、綿ぼこりがたまりますので定期的にとり除きます。
このミシンには重要な部分に特殊材料を使用していますが、ご使用前に図示したところへ1～2滴注油してください。

■仕様表

項 目	仕 様
使用糸数	4本、3本、2本
使用針	左、右針ともHA×ISP11番、14番
かがり幅	2本針4本針 5～7mm 左針 5～7mm 右針 3～5mm (巻き縫い 2mm)
送り量 (縫い目の長さ)	1～4mm (標準2.5mm)
差動送り比	0.7～N(1)～2.0
押え上げ量	5mm
縫い速度	最大1,500針/分
ミシンの大きさ (本体)	幅335×奥行300×高さ355(mm)
重 量 (本体)	8.4kg
定格電圧/消費電力	100V/115W 50/60Hz
ランプ消費電力	12V/5W

■故障かな? というときは……

次のような場合は故障ではありません。サービスをお申しつけになる前にもう一度確かめてください。

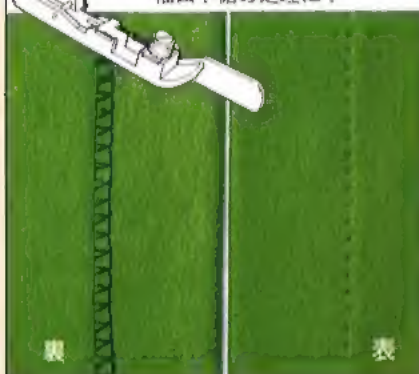
現 象	原 因 (理 由)	処 置 方 法	参 考 ペー ジ
布地を送らない場合	①押えの圧力が弱すぎる時。	・ 押え調節レバーを左側へ動かし押え圧を強くします。	5
針が折れる場合	①針が曲っていたり、針先がつぶれているとき。 ②針のとりつけ方が悪いとき。 ③布地を無理にひっぱったとき。	・ 新しい針にとりかえます。 ・ 正しくとりつけます。 ・ 縫っているときは布端に手をそえるだけにします。	5 5 —
糸が切れる場合	①糸のかけ方がまちがっているとき。 ②糸調子が強すぎる時。 ③針のとりつけ方が悪いとき。	・ 正しくかけなおします。 ・ 糸調子を弱くします。 ・ 正しくとりつけます。	8~10 11 5
目とびがする場合	①針が曲ったり、針先がつぶれているとき。 ②針のとりつけ方が不完全なとき。 ③糸のかけ方がまちがっているとき。	・ 新しい針にとりかえます。 ・ 正しくとりつけます。 ・ 正しくかけなおします。	5 5 8~10
縫い目の調子が悪い場合	①ステッチ表示選択がまちがっている。 ②糸調子が不完全なとき。	・ 正しいステッチ表示記号を選びます。 ・ 微調整レバーで調整します。	7 11
縫いしわがよる場合	①針糸調子が強すぎる時。 ②糸かけ方がまちがっていたり、必要以外の場所に糸がからんでいるとき。 ③差動調節つまみの目盛合わせが正しくない。	・ 針糸微調整レバーを下に動かし、針糸調子を弱くします。 ・ 正しくかけなおします。 ・ 目盛を正しく合わせます。	11 8~10 13

※上記の方法でも直らないときは、お買い上げ販売店にご相談ください。

■別売付属品

●ブラインドステッチ(まつり縫い)押え

スカート・ズボンの裾、Tシャツの袖口や裾の処理に /



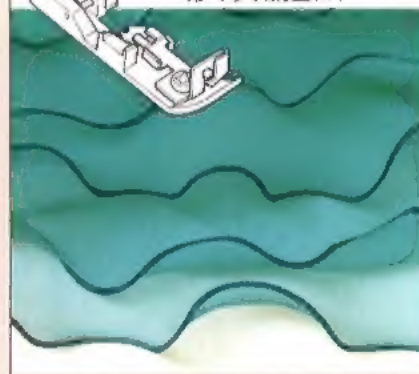
●ゴムテープ付け押え

水着、レオタード、衣服のゴム入れに /



●コーティング(ひもつけ)押え

ドレスの裾、ブラウスの衿など 形くずれ防止に /



お買い上げ販売店にご相談ください

JUKI

JUKI 株式会社

〒182 東京都調布市国領町8-2-1

☎ 03-3480-5655

000695(T)